

■ 十字架の前日

十字架の前日、イエス様は4つの大事な事をなさいました。

弟子たちの足を洗い、パンとぶどう酒を分けて聖餐式を行い、「互いに愛し合いなさい」という新しい戒めを与え、弟子たちや教会のために祈りました。

■ ゲツセマネの園

それから、イエス様は弟子たちとともに、ギデロン谷の向こう側 - ゲツセマネの園に行きました。ゲツセマネの園はオリーブ山のふもとにあり、イエス様がよく出かけ、神に祈りをしていた場所です。イスカリオテのユダもその場所を知っていました。

■ メッセージのポイント

(1) イエス様の時

過去にもユダヤ人たちはイエス様を捕らえようとしたことがあります。しかし、実行する人はだれもいませんでした。まだイエス様の十字架の時が来ていなかったからです。

イエス様は神への祈りの中で、その時が来た事を言明しました。

(2) 状況をコントロールしているイエス様

祭司長たちはずっとイエス様を捕らえて始末したいと思っていました。そんな中、状況がイエス様に不利になると、祭司長たちがこの状況の主導権を握っているように見えます。

しかし、本当はそうではないと聖書は語っています。

(3) 父の御心に従うイエス様

イエス様は、父 - 神の御心を知り、御心を求めていました。イエスご自身の時が来た時、イエス様は自ら進み出て、受難のさかずきを受けようとしたのです。